

京都大学人文科学研究所
附属現代中国研究センター
研究報告

近代東アジアにおける 翻訳概念の展開

石 川 禎 浩 編
狹 間 直 樹

京都大学人文科学研究所
附属現代中国研究センター

2 0 1 3 年

京都大学人文科学研究所
附属现代中国研究中心
研究报告

翻译概念在近代东亚的展开

石 川 楨 浩 编
狭 间 直 树

京都大学人文科学研究所
附属现代中国研究中心

2013年

目 次

序 文	石 川 禎 浩 (i)
中江兆民『民約訳解』の歴史的意義について	
——「近代東アジア文明圏」形成史：思想篇	狭 間 直 樹 (1)
中村正直と巖復における J・S・ミル『自由論』翻訳の意味	高 柳 信 夫 (55)
「天演」から「進化」へ	
——魯迅の進化論の受容とその展開を中心に	李 冬 木 (83)
明治期における日中間文法学の交流	袁 広 泉 (119)
近代「中国哲学」の起源	桑 兵 (143) (村上 衛 訳)
19 世紀末日中における「記念」の語義変化について	小野寺 史 郎 (167)
「主権」の生成と「宗主権」	
——20 世紀初頭の中国とチベット・モンゴル	岡 本 隆 司 (185)
シヴィル・エンジニアリングの語と概念の翻訳	
——「市民の技術」とは何か	武 上 真理子 (217)
清末における political economy の受容	
——梁啓超を中心に	森 時 彦 (253)
近代日中の翻訳百科事典について	石 川 禎 浩 (277)
「東亜病夫」とスポーツ	
——コロニアル・マスキュリニティの視点から	高 嶋 航 (309)
中国共産党史における翻訳概念	
——「路線」と「コース」をめぐる	江 田 憲 治 (343)
跋	狭 間 直 樹 (373)

中文目录

序	石川 禎 浩 (i)
关于中江兆民《民约译解》的历史意义	
——“近代东亚文明圈”形成史：思想篇	狭 间 直 树 (1)
为什么要翻译 <i>On Liberty</i> ?	
——对比中村正直《自由之理》与严复《群己权界论》	高 柳 信 夫 (55)
从“天演”到“进化”	
——以鲁迅对进化论之容受及其展开为中心	李 冬 木 (83)
明治时期中日语法学交流初探	袁 广 泉 (119)
近代“中国哲学”发源	桑 兵 (143) (村上 卫 译)
十九世纪末中日两国“纪念”涵义的推陈出新	小野寺 史 郎 (167)
“主权”的生成与“宗主权”	
——二十世纪初的中国与西藏、蒙古	冈 本 隆 司 (185)
“Civil Engineering”一词及其概念之翻译	
——探索“公民技术”的原意	武 上 真理子 (217)
晚清吸纳 political economy 路径考	
——以梁启超为中心	森 时 彦 (253)
中日近代的编译百科全书	石 川 禎 浩 (277)
“东亚病夫”与体育	
——基于 colonial masculinity 视点之考察	高 岛 航 (309)
关于中国共产党史概念的翻译	
——围绕“路线”与“Course”	江 田 宪 治 (343)
跋	狭 间 直 树 (373)

近代東アジアにおける翻訳概念の展開

二〇一三年一月二十日 印刷

二〇一三年一月三十一日 発行

編者

石川 禎浩
狭間 直樹

発行者

京都大学人文科学研究所
京都市左京区吉田本町

印刷者

中西印刷株式会社
京都市上京区下立売通小川東入ル

